

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人伊高学園 日吉幼稚園

1. 本園の教育目標

・明るく健やかな子どもに育てる・礼儀正しい子どもに育てる・創造力豊かな子どもに育てる

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

明るく健やかで創造力豊かな子どもに育てるという教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施し教育内容の改善に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育計画と内容	B	教育方針を理解し、保育内容や指導計画作成に活かすことがおおむねできている。幼児一人一人への対応も個別的な指導計画のもと丁寧に保育することを心がけた。
保育のあり方、幼児への対応	B	幼児一人一人を認め理解し、興味関心を持っていることを理解する。ほめたり励ましたり、めあてを持たせられるような保育ができた。
環境の構成	B	保育室、園庭、遊具の安全で清潔な環境構成をこころがけた。感性を豊かに育む環境を整え、室内の環境づくりをこころがけた。感染症対策として、手洗い・消毒・うがい指導の徹底、室内換気人的接触距離を保つことに配慮した。
教職員相互の協力・連携・役割	B	行事等の役割分担を明確にし、報告・連絡・相談を適切に行った。共有すべき必要な情報を共通理解している。
教師としての資質や保育の質の向上	B	日常保育の中での悩みや問題点を全職員間で共有し、解決していける環境がある。反省会・職員会議で保育を見直し幼児理解に努めた。
保護者への対応 家庭支援 地域との関わり	B	たよりや連絡帳などを工夫して、幼児の様子を知らせている。地域の人々と親しく挨拶や会話をしている。地域の自然を保育に組み入れようと意識している。気になる子については家庭での様子を聞き、情報を共有する努力をした。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面や運動面で一人一人と向き合い楽しい保育ができたクラスはあるが、一部のクラスでは子どもの持っている力を十分に伸ばせていないと感じるクラスもあった。 見つけた課題について重点的に取り組む必要がある。 ・健やかな心と体づくりのために、幼稚園の環境を活かした保育実践の必要性を認識した。 ・研修会に積極的に参加し保育の質の向上を目指す。 ・危機管理マニュアルを見直し共通理解を行い、安全対策への意識を高める。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
環境構成	健やかな心と体づくりのための、幼稚園内外の環境を活かした保育実践。 自然などの身近な環境と十分に関わることが出来るようにする。 園内外の清掃を強化する。衛生面の意識向上。教師の健康管理の意識向上。
教職員間の協力	職員同士のコミュニケーションをとり、学年に関係なく他学年の指導計画も把握し協力体制を整える。
特別支援教育	特別な支援が必要な幼児への個別の指導計画の作成や、環境づくりを学ぶ機会を増やし保育に活かす。家庭との連携を密に行う。
安全管理	災害に備えて、危機意識の向上を図る。 遊具の安全な使い方や、近隣の環境を把握し、怪我や事故を未然に防ぐ努力をする。 日常保育活動中の怪我や事故を未然に防ぐ努力をする。感染症対策に努める。
地域との連携	地域に愛される園を目指して、地域との連携に一層努める。
家庭との連携	月報・のびっこだより・連絡アプリなどを通して園での様子を伝える。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ◎昨年度までの課題で、保育中の様子がわかりにくいというのがあったが、写真展示で、よくわかるようになった。連絡アプリを利用し更に、情報の発信を希望する。
- ◎子どもの持っている力を十分に伸ばす保育を今後も続けてほしい。
- ◎登降園の際、門扉の鍵を必ず閉めることを表示し、全保護者に周知徹底を行い園児の安全を守る対策が必要。

委員会実施日 令和 5年 2月 16日